



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 HPCシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6597 URL <https://www.hpc.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 小野 鉄平
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 下川 健司 (TEL) 03-5446-5530
半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	3,058	△3.4	189	7.1	219	75.1	143	54.4
2024年6月期中間期	3,167	—	177	—	125	—	92	—

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 141百万円(51.8%) 2024年6月期中間期 93百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	34.17	33.93
2024年6月期中間期	21.63	21.45

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年中間増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	4,181	2,321	55.5
2024年6月期	4,765	2,487	52.2

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 2,321百万円 2024年6月期 2,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年6月期	—	0.00			
2025年6月期(予想)			—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,240	4.2	600	40.9	592	38.9	409	36.8	95.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	4,362,500株	2024年6月期	4,360,500株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	217,231株	2024年6月期	65,931株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	4,196,484株	2024年6月期中間期	4,292,485株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費に持ち直しの動きがみられ、インバウンド需要の拡大もあり景気の緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、資源価格の高止まりや中国経済の減速のほか、米国の対中半導体規制や為替相場の不安定な変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するコンピューティング業界においては、人工知能(AI)技術の進展によりデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速し、少子高齢化など様々な社会課題を解決すべく、コンピューティング技術のより一層の活用が求められております。科学技術計算など研究分野で活用されている他、さまざまな産業用途で活用されており、引き続き市場規模の拡大が見込まれております。

このような環境において当社グループは、「スーパーコンピュータからエッジコンピュータ」まで網羅するコンピューティングソリューションを提供することで、顧客の様々な要望に応えるべく最適なシステムをワンストップで提供できる体制を構築しております。事業部間で異なるコンピューティング分野の連携強化に努め、差別化を図り、競争優位性の向上に取り組んでおります。

当社グループが重視している人財面については、人的資本に関する基本的な考え方として「人財グランドデザイン」を策定し、戦略的に技術系人材の充実に努め、多様な技術系人材を集結し、高度化する顧客の課題や要望に対する製品・サービスを提供する体制を構築しております。強みである大学公官庁や民間企業など幅広い顧客基盤に対して、高付加価値の製品・サービスを提供することで、さらなる収益力強化を図っております。又、グローバル戦略として海外向けソフトウェアライセンスビジネスの強化に取り組み、国内市場中心のビジネスモデルから海外事業の基盤強化を進めております。一方、円安進行による輸入コストの上昇やインフレによる電子部品の価格上昇などマイナスの外部要因はありますが、「人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する」という経営理念のもと、新たに「中期経営計画 Vision2027」を策定し企業価値の向上に取り組んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,058,341千円(前年同期比3.4%減)、営業利益189,606千円(前年同期比7.1%増)、経常利益219,560千円(前年同期比75.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益143,393千円(前年同期比54.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

民間企業向けは堅調に推移したものの、大学等公的研究機関向けの低調、及び前年同期にあったベトナム現地法人による大型案件の反動等により売上高は前年同期比で減少となりました。円安による輸入コストは増加傾向にあるものの、案件管理の徹底を進め、一定の利益率を確保することで採算が改善しました。人財採用が一服した他、営業経費の削減を進めたことで販売管理費が減少したこともあり、セグメント利益は前年同期比で増加となりました。

以上の結果、HPC事業の売上高は1,921,912千円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益は147,881千円(前年同期比37.3%増)となりました。

② CTO事業

新規顧客向けが前年同期並であったものの、継続顧客向けが堅調に推移したことで、売上高は前年同期比で増加となりました。部材価格の上昇、及び一部の継続顧客からのコスト削減要請に対応したことで採算が悪化し、利益率が低下しました。販売管理費が前年同期に対して増加したこともあり、セグメント利益は前年同期比で減少となりました。

以上の結果、CTO事業の売上高は1,136,429千円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は41,724千円(前年同期比39.9%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,868,233千円となり、前連結会計年度末と比べ544,738千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が260,370千円、電子記録債権が209,837千円、現金及び預金が90,389千円減少したことによるものであります。固定資産は312,900千円となり、前連結会計年度末と比べ39,343千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が27,053千円、機械及び装置が6,192千円、建物が2,518千円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は4,181,133千円となり、前連結会計年度末に比べ584,081千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,448,744千円となり、前連結会計年度末と比べ302,958千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が86,377千円、1年内返済予定の長期借入金85,556千円、賞与引当金が40,419千円、未払法人税等が31,638千円、その他が84,957千円減少したことによるものであります。固定負債は410,402千円となり、前連結会計年度末と比べ115,280千円減少いたしました。これは長期借入金が115,280千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は1,859,146千円となり、前連結会計年度末に比べ418,238千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,321,987千円となり、前連結会計年度末と比べ165,843千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得により自己株式が199,995千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,644,647千円となり、前連結会計年度末に比べ118,166千円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少による収入470,207千円等により446,700千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出14,257千円等により25,868千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済による支出400,836千円、自己株式の取得による支出199,995千円等により507,463千円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期連結業績予想につきましては、2024年8月13日の「2024年6月期 決算短信」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,834,204	1,743,814
受取手形及び売掛金	1,155,601	895,230
電子記録債権	338,341	128,504
製品	29,311	28,778
仕掛品	138,699	306,182
原材料及び貯蔵品	631,826	517,032
未着品	127,810	33,622
前渡金	57,108	39,088
その他	100,067	175,981
流動資産合計	4,412,971	3,868,233
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	46,359	43,841
機械及び装置(純額)	60,448	54,256
車両運搬具(純額)	384	329
工具、器具及び備品(純額)	12,442	10,550
土地	14,698	14,698
有形固定資産合計	134,333	123,675
無形固定資産		
ソフトウェア	18,398	18,331
無形固定資産合計	18,398	18,331
投資その他の資産		
投資有価証券	51,200	51,200
繰延税金資産	120,210	93,156
その他	28,101	26,536
投資その他の資産合計	199,511	170,892
固定資産合計	352,243	312,900
資産合計	4,765,215	4,181,133

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,880	195,503
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	382,228	296,672
未払法人税等	87,998	56,360
前受金	248,565	273,218
賞与引当金	95,308	54,888
役員賞与引当金	9,000	10,500
製品保証引当金	49,546	49,383
その他	247,175	162,218
流動負債合計	1,751,702	1,448,744
固定負債		
長期借入金	525,682	410,402
固定負債合計	525,682	410,402
負債合計	2,277,384	1,859,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	230,145	230,245
資本剰余金	349,264	349,364
利益剰余金	2,071,892	2,107,921
自己株式	△165,902	△365,898
株主資本合計	2,485,399	2,321,634
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,430	353
その他の包括利益累計額合計	2,430	353
純資産合計	2,487,830	2,321,987
負債純資産合計	4,765,215	4,181,133

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,167,548	3,058,341
売上原価	2,250,320	2,144,557
売上総利益	917,228	913,783
販売費及び一般管理費	740,146	724,176
営業利益	177,082	189,606
営業外収益		
受取利息	898	1,458
保険配当金	480	557
確定拠出年金返還金	605	371
為替差益	—	32,974
その他	101	292
営業外収益合計	2,085	35,654
営業外費用		
支払利息	7,295	4,854
為替差損	32,406	—
支払手数料	13,862	845
その他	180	0
営業外費用合計	53,744	5,700
経常利益	125,422	219,560
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前中間純利益	125,422	219,560
法人税、住民税及び事業税	18,331	49,113
法人税等調整額	14,238	27,053
法人税等合計	32,569	76,166
中間純利益	92,853	143,393
親会社株主に帰属する中間純利益	92,853	143,393

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	92,853	143,393
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	248	△2,077
その他の包括利益合計	248	△2,077
中間包括利益	93,101	141,316
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	93,101	141,316

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	125,422	219,560
減価償却費	37,979	24,914
受取利息及び受取配当金	△898	△1,458
支払利息	7,295	4,854
為替差損益(△は益)	32,578	△11,338
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,907,627	470,207
棚卸資産の増減額(△は増加)	△97,117	42,033
仕入債務の増減額(△は減少)	116,719	△86,390
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,888	△40,419
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	1,500
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,563	△163
前渡金の増減額(△は増加)	69,129	18,020
その他	△239,639	△117,928
小計	3,915,773	523,392
利息及び配当金の受取額	894	1,458
利息の支払額	△5,121	△4,962
法人税等の支払額	△131,249	△73,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,780,297	446,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	86,318	△25
有形固定資産の取得による支出	△38,818	△10,992
無形固定資産の取得による支出	△2,137	△3,264
その他	△11	△11,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,351	△25,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△3,250,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△124,450	△200,836
配当金の支払額	△106,894	△106,832
新株予約権の行使による株式の発行による収入	257	200
自己株式の取得による支出	△49	△199,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,081,137	△507,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△261	△1,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	744,250	△87,883
現金及び現金同等物の期首残高	1,018,563	1,732,531
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,762,813	1,644,647

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	1,983,028	1,124,885	3,107,914	—	3,107,914
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	59,634	—	59,634	—	59,634
顧客との契約から生じる 収益	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,042,663	1,124,885	3,167,548	—	3,167,548
セグメント利益	107,670	69,411	177,082	—	177,082

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	1,864,318	1,136,429	3,000,747	—	3,000,747
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	57,594	—	57,594	—	57,594
顧客との契約から生じる 収益	1,921,912	1,136,429	3,058,341	—	3,058,341
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,921,912	1,136,429	3,058,341	—	3,058,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,921,912	1,136,429	3,058,341	—	3,058,341
セグメント利益	147,881	41,724	189,606	—	189,606

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。